

イスラム神秘主義哲学—伝統と革新—

Islamic Mysticism and Philosophy: Between Tradition and Innovation

"Ibn 'Arabī's Theosophy of Love
in Central Asian Poetry"

Marc Toutant 14:00-15:00

(Centre National de la Recherche Scientifique CNRS), France

Islamic Mystical Philosophy Today: An Attempt
to Innovate the Understanding of

"the Human" from Ibn 'Arabī's Thought

Makoto Sawai 15:15-16:15

(Tenri University)

16:30-16:50 Q&A

Saturday 11 July,

14:00-17:00

Room 1095, 9th Floor,

Liberty Tower, Meiji

University Surugadai

Campus

マルク・トゥタン (Marc Toutant)
フランス国立科学研究センター (CNRS) 研究員。専門はイスラム神秘主義 (スーフィズム) 思想および中央アジア・ペルシア文学。15世紀中央アジアの代表的な詩人・思想家であるアリ・シール・ナヴァーイー (アリシール・ナポイ) をはじめ、中央アジアにおけるスーフィズム詩の受容や神智学思想の変遷について精力的な研究を展開している。

澤井真

天理大学人文学部宗教学科附属おやさと研究所准教授。専門はイスラム神秘主義、特にイブン・アラビー思想研究。著書『イスラムのアダム—人間をめぐるイスラム神秘主義の源流』(慶應義塾大学出版会) など。

明治大学 国際交流基金事業「Researcher Mobility Grant」

共催：明治大学 国際連携本部 問い合わせ：明治大学文学部 井上貴恵 (inouekie@meiji.ac.jp)